

# まちの財政状況 令和元年度決算

町では、健全な財政運営を目指し、地域経済と町民の皆様の生活に支障をきたさない範囲で、徹底した支出の抑制と有利な財源の確保につとめ、収支改善に取り組み、実質単年度収支の赤字額は大幅に改善しました。令和2年第3回定例議会において、令和元年度決算が認定されました。概要をお知らせします。

**歳出総額は52億4,920万円** (※一般会計・特別会計合計)  
前年度比3.2%の減 (1億7,498万円減)

## ○ 一般会計

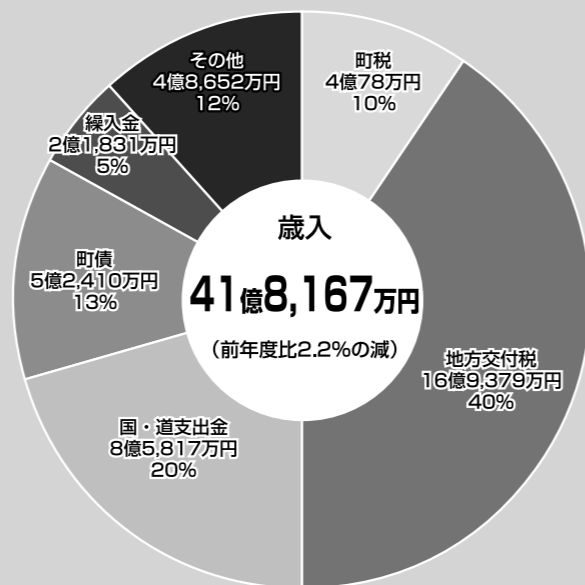
### 歳入

総額は41億8,167万円で、前年度と比較すると9,328万円(2.2%)の減額となりました。

主な要因は、前年度に行われた基金の統廃合に伴う繰入金の減少(3億383万円)、国庫支出金で災害復旧費の減少(1億3,167万円)が挙げられます。

自主財源である町税は前年度と比べて135万円(0.3%)の増加。地方交付税と地方交付税の実質的な振替財源である臨時財政対策債の総額は914万円(0.5%)の減となりました。

町債は、2億7,421万円増で防災行政無線デジタル化により増となりました。

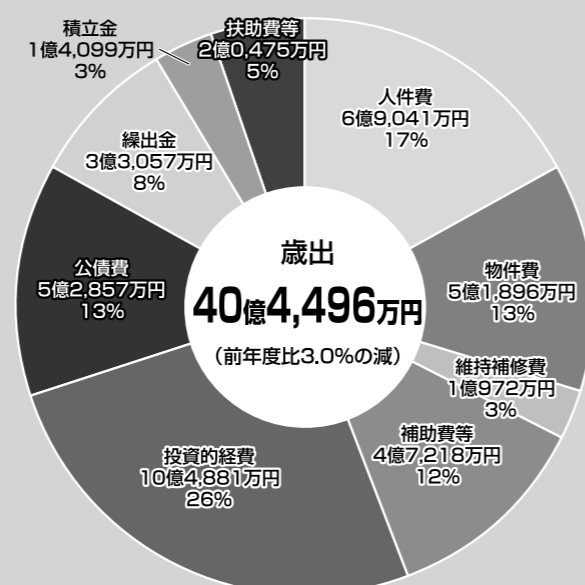


### 歳出

総額は、40億4,496万円で、前年度と比較すると1億2,695万円(3.0%)の減額となりました。

主な要因は、積立金で前年度に行われた基金の統廃合に伴う積み立て等の減少により、3億5,028万円の減少が挙げられます。

性質別に前年度と比較すると、防災行政無線デジタル化事業の増加等により投資的経費が1億6,000万円増額。補助費等では中山間地域所得向上支援整備交付金等の道補助事業の実施等により、6,121万円の増額となりました。



### 収支

歳入歳出差引は、1億3,671万円で、翌年度への繰越事業に必要な財源を控除した実質収支は、1億3,258万円です。

この額から、過年度繰越金、財政調整基金への積み立て及び取り崩しを考慮した当該年度の実質的な収支である「実質単年度収支」は667万円の赤字でしたが、前年度、7,565万円の赤字から大幅に改善しました。

※実質単年度収支

= 実質収支 - 過年度繰越金 + 財政調整基金積立額 + 地方債繰上償還額 - 財政調整基金取崩額

## ○ 特別会計の決算

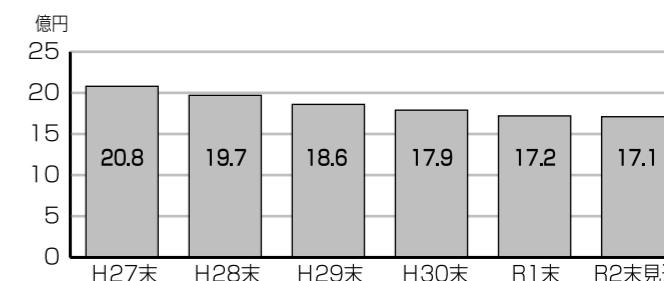
| 会計名     | 歳入        | 歳出        | 差引額     |
|---------|-----------|-----------|---------|
| 国民健康保険  | 3億6,263万円 | 3億5,238万円 | 1,025万円 |
| 後期高齢者医療 | 4,844万円   | 4,777万円   | 67万円    |
| 介護保険    | 4億135万円   | 3億8,645万円 | 1,490万円 |
| 簡易水道事業  | 2億4,972万円 | 2億4,948万円 | 24万円    |
| 集落排水事業  | 1億6,840万円 | 1億6,816万円 | 24万円    |

## ○ 基金残高の状況 (※基金は家庭での貯金にあたるものです)

特定目的基金の国際交流基金や国鉄胆振線代替基金等では、例年どおり各事業にかかる経費分の繰り入れを行いました。財政調整基金は4,136万円の取崩しとなりましたが、この額は前年度より1,440万円の減(改善)となり、また基金全体の取り崩しは6,974万円で370万円の減(改善)となっています。

| 区分        | 令和元年度末            |
|-----------|-------------------|
| 財政調整基金    | 3億4,939万円         |
| 減債基金      | 3,188万円           |
| 国際交流基金    | 3億1,653万円         |
| 国鉄胆振線代替基金 | 8,413万円           |
| その他特定目的基金 | 4億6,103万円         |
| 備荒資金組合納付金 | 4億5,053万円         |
| その他特別会計基金 | 2,326万円           |
| <b>合計</b> | <b>17億1,675万円</b> |

基金残高の推移

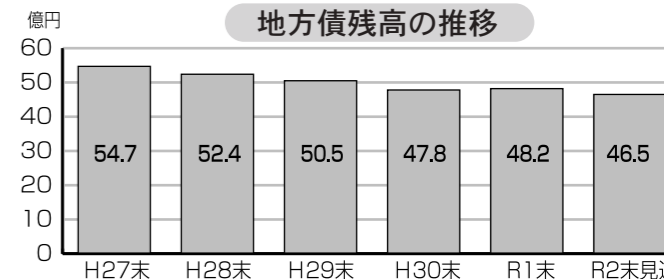


## ○ 地方債残高の状況 (※地方債は家庭での借金にあたるものです)

地方債残高は、前年度末に比べて3,307万円(0.7%)の増となりました。主な要因としては防災行政無線デジタル化事業(2億9,531万円)の実施に伴い、緊急防災・減災事業債の残高が増加したことが挙げられます。

| 区分        | 令和元年度末            |
|-----------|-------------------|
| 公営住宅建設事業債 | 9億661万円           |
| 過疎対策事業債   | 8億1,804万円         |
| 臨時財政対策債   | 12億7,472万円        |
| その他一般会計債  | 6億1,084万円         |
| その他特別会計債  | 12億1,014万円        |
| <b>合計</b> | <b>48億2,035万円</b> |

地方債残高の推移



## ○ 令和元年度決算に基づく健全化判断比率等の公表について

健全化判断比率とは、まちの財政状況の健全度を示す指標で、毎年度の決算について、その比率を議会に報告するとともに、公表することが義務づけられています。

本町では、基準値を超える項目はなく、財政状況は健全であると言えますが、今後も引き続き無駄のない財政運営に努め、一層の財政健全化に取り組んでいきます。

### 健全化判断比率

|          | 壮瞥町   | 早期健全化基準 | 財政再生基準 |
|----------|-------|---------|--------|
| 実質赤字比率   | 赤字なし  | 15.0%   | 20.0%  |
| 連結実質赤字比率 | 赤字なし  | 20.0%   | 30.0%  |
| 実質公債費比率  | 12.9% | 25.0%   | 35.0%  |
| 将来負担比率   | 5.2%  | 35.0%   |        |

### 資金不足比率

|            | 壮瞥町    | 早期健全化基準 |
|------------|--------|---------|
| 簡易水道事業特別会計 | 資金不足なし | 20.0%   |
| 集落排水事業特別会計 | 資金不足なし | 20.0%   |

※平成30年度財務書類はホームページで公表しています。

【お問い合わせ先】 壮瞥町役場企画財政課財政係 (☎0142-66-2121)